

科目責任者 古澤 康秀 (社会薬学研究室)

■ 教育目的

薬学出身者は、医療の供給における経済的な側面を理解し、医療費の適正化と効率的な運用に貢献することが求められる。このため、社会保険制度と医療保険制度のしくみ、医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを学ぶ。あわせて、薬事関連法規・制度の最近の改正点や要点についても学習する。

■ 学習到達目標

社会保険制度と医療保険制度のしくみ、医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを理解する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：教科書、参考書、配布プリントの該当部分に目を通しておく。

復習：講義内容を復習するとともに、関連事項について自分で調べてみる。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	社会保障制度と医療保険制度	社会保障制度のしくみ、医療保険制度の成り立ちと役割、医療保険の種類と現状	C18 (2) -1-1 C18 (2) -1-2 C18 (2) -2-1 C18 (2) -2-3 C18 (2) -2-4
2～3	保険医療のしくみ	保険医療機関、保険薬局、保険医、保険薬剤師、保険給付、医療費の請求	C18 (2) -2-2 C18 (2) -3-2
4～5	診療報酬と薬剤師	診療報酬と病院薬剤師の業務の関わり	C18 (2) -3-3
6	高齢者医療保険と介護保険	高齢者医療保険制度、介護保険制度	C18 (2) -1-3 C18 (2) -1-4
7	医療費の内容と動向	国民医療費の動向、医療費の内訳	C18 (2) -3-1 C18 (2) -3-4
8	薬価制度	薬価制度、薬価算定のしくみ、新薬の価格を決定する要因、後発医薬品の薬価	C18 (2) -3-3 C17 (1) -2-2
9～12	薬剤経済学	疾病と費用、費用対効果分析、解析事例	C18 (2) -3-5 C18 (2) -3-6
13～14	薬剤師を取り巻く法律と制度	薬事関連法規・制度における最近の改正事項、薬事関連法規・制度の要点の整理	C18 (1) -2 C18 (1) -3
15	総括		

■ 授業分担者

No.1～6：遠藤 一司、No.7～12：赤沢 学、No.13～15：古澤 康秀

■ 成績評価方法

期末試験（90％）および出席状況・授業態度（10％）で総合評価を行う。

■ 教科書

『薬事法規・制度及び倫理 解説』 薬事衛生研究会 編 （薬事日報社）

■ 参考書

『薬事衛生六法 学生版』 （薬事日報社）

『スタンダード薬学シリーズ 9 薬学と社会（第3版）』 日本薬学会 編 （東京化学同人）

『平成24年版厚生労働白書－社会保障を考える－』 厚生労働省編

■ その他

薬学科6年生（必修科目）との合同授業